



# NSバートルクライ

#202

2 / 2024 (135)

## レキシコン - Michael Kühnen

### 69 - マルクス主義

マルクス主義は、前世紀後半にユダヤ人のカール・マルクスが創始した思想であり、その現在における意義は、二つの事実の結果である。

1. マルクス主義は、二つの超大国の一つとして、帝国主義で人民の自由を脅かすソ連とその帝国の国家イデオロギーである。
2. マルクス主義は、共産党の党思想でもある。西ヨーロッパでは、自由資本主義世界システムの歴史的に避けられない崩壊が始まると、国家社会主義とその政党（国家社会主義ドイツ労働者党参照）に対する唯一の深刻なライバルとなる（自由資本主義参照）。

権力政治の面だけでなく、思想的に



も、国家社会主義とマルクス主義は敵対する。マルクス主義は、とりわけ、哲学的唯物論（人間はもっぱら環境条件、とりわけ生産関係の産物である）と万人の平等という基本思想によって、種と自然に反する教条主義を表しているからである。

マルクス主義の原理「存在が意識を決定する」は、国家社会主義によって、「意識は、遺伝的物質によって決定される可能性の枠内で存在を決定する」（哲学的唯物論ではなく価値観念論）という洞察で反論される。マルクス主義の原理「歴史は階級闘争の歴史」は、国家社会主義の洞察「歴史は人種闘争の歴史」によって反証される。

マルクス主義は、当時の初期キリスト教と同様に、もともと世界支配を目指すシオニズムの道具の一つであり、労働者運動に対するシオニストの支配に奉仕するものだった。しかし、キリスト教と同様、スターリンによる政権奪取後、権力政治における隷属的な役割から解放されたが、もちろんユダヤ教の影響をすべて断ち切ることはできなかった。さらにその後、マルクス主義は多数の競合する潮流に分解され、2つの、ごく少数の、主権国家の国家基盤にさえなってしまった。アルバニアと北朝鮮それ以前に、毛沢東の中国やクメール・ルージュのカンボジアでもそうだった（「主権」の項も参照）。

とはいえ、シオニズムと自由資本主義に続いて、マルクス主義は国家社会主義世界運動の第三の主敵であることに変わりはない。国家社会主義はまた、かつて、そして部分的には今もマルクス主義の影響下にある労働者運動の歴史的相続人である。

## 70 - 大量組織

大衆組織は、フロント組織と同様に、特定の政治的目標を達成するため、および/または特定の社会集団や層に影響を与えるために設計された新戦線の信念の共同体の組織である。しかし、それらは、新戦線の戦略に示されるように、権力への道を戦う国家社会主義者の組織ではなく、ある分野における個人的利益と不満の助けによって、できるだけ多くの人々、とりわけ非国家社会主義者を動員する団体である。人々が不満を持ち、

影響を受け、憤っているところには、この不満を取り上げ、それを支持し組織化し、そのために大衆組織を立ち上げ、あるいは既存の組織に協力し、影響を及ぼす国家社会主義者も存在するはずなのだ。

大衆組織は、このように、新戦線の政治戦術の道具であり、手段である。それらは、国家社会主義の新しい支持者を獲得するために役立つのではなく、現在の政治的、社会的、文化的闘争と発酵の過程において、国家社会主義者に影響を与えるために役立つ。極端な場合、大衆組織に巻き込まれた人民の同志が、この影響を正しく認識することなく。

大衆組織には、国家社会主義者の幹部によって設立および／または統制されたものと、そのような幹部が単に協力し、なおかつ影響力を求めて闘う、独立して発生したものとがあります。目的は、最初から統制のとれた大衆組織を作ることです。しかし、それが可能でない、あるいは有望でないと思われる場合には、既存の独立したものに影響を与え、最終的には巧みな同盟政策によって支配下に置かなければならない。

このような戦術は、政治的要求が明らかに新戦線の最終目標と矛盾する場合にのみ、その限界を見出す。しかし、それが国家社会主義の世界観や人生観とおおよそ調和しうるところ、少なくともそれに直接対抗しないところでは、国家社会主義者は影響を及ぼすことができるし、そうすべきなのだ。幹部の任務は、大衆組織の戦術的目的がそれ自体で目的化するのを防ぐこと、すなわち、最優先の戦略とのつながりが失われるのを防ぐことである。

FRGで施行されているNS禁止令の条件下では、最も重要な大衆組織は合法的な政党であり、その保護下で国家社会主義者は政治闘争に介入し、選挙に立候補し、それによって徐々に禁止令を解いていくことができるのだ。

## 71 - 物質主義

物質主義とは、自分の幸福を何よりも優先し、いかなる価値観や思想にも沿わず、ただひたすら快適で気楽な生活を目指す生活態度のことである。唯物論は退廃の主要な症状であり、したがって人間社会の死の兆候で

ある。物質主義が優勢な人々の共同体は、末期的な病気で運命づけられている。人々が、価値やアイデアから利益を得るのではなく、価値やアイデアのために生き、働き、闘う共同体だけが、生き残り、繁栄することができるのだ

唯物論に対応する人間のタイプはブルジョア（ブルジョアジー参照）、国家の形態は西欧型民主主義、社会・経済の形態は自由主義資本主義である。個人主義の哲学的な理論も、ほとんどが唯物論につながる。現在の唯物論の最も極端な姿はアメリカ主義であり、それに対して、Gesinnungsgemeinschaft der Neuen Frontのヴォルキッシュな文化革命が向けられているのである。

国家社会主義は、ヨーロッパの数千年にわたる理想主義の伝統の継承者として、価値観論の倫理によって唯物論を克服するものであり、それは国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の指導原則に完全な表現として見いだされる。

りえきよりこうほう

## 72 - マイナス選択

自然は常に、健常者、強者、健康な者が生き残り、繁栄することを望み、不向きな者、弱者、病人は滅び、死ぬことを望んでいる。遺伝は永続性を、分化は豊かさと多様性を、生存競争は生存可能で価値のあるものを常に選択し、生存不可能で価値のないものを排除することを保証している。

国家社会主義の科学的知の教義としての生物学的人間論は、人間を、文化を創造する生物学的気質を持った自然な存在と定義し、それは共同体としてのみ実行可能であるとする。自然界の存在である人間の種族、民族、共同体、個人にも同じ生命原理が適用されます。コミュニティと個人は、他のすべての生命体と同じ生命の法則に従います。一方、文化を創造する能力は、超自然的なものではなく、生物学的な素質であり、人間の共同体や個人が生存のために闘う上で利益をもたらさずのものである。それが生物学的な意味であり、目的である。ところが、種や自然に応じた文化の創

造を可能にするはずの人間の自由意志は、実は、生物学的本性から一時的に自分を疎外し、生命の法則に逆らって生きることも可能にしてしまうのである。

種と自然にそぐわない人間のあらゆる共同生活は、不自然な教条主義から生まれ、最初は文化的、次に生物学的な退廃を可能にし、最初からマイナス選択へと導くのだ。マイナス選択とは、このように不自然になった文化生活の結果であり、自分自身や周囲の自然やその不変の法則から疎外されたものなのである。マイナス淘汰とは、生命の進化と自らの種に影響を与える人間の文化的可能性が、本来淘汰や駆除の犠牲になるはずの劣ったものを育て、世話をするために悪用され、健康で強いものから生命と発展の可能性をどんどん差し控え、取り上げてしまうことである。こうしてマイナス選択は、まず人間社会の高度の発展を脅かし、次に遺伝子の構成、ひいては人間の実際の「生活の質」をますます悪化させ、最後にはそれによって形作られた人間という種の死をもたらすことになるのである。なぜなら、人間は一時的に生命の法則を無視することはできても、永久に無視することはできないし、法則を一時停止することも、その結果から逃れることもできないからである。

その生息地で、部分的には数世紀にわたって優勢であった教条的イデオロギー（ユダヤ教、ユダヤの影響を受けたキリスト教、自由主義、マルクス主義などを参照）と、激化する物質主義の影響下で、マイナス選択はアーリア人種（アーリア人を参照）で最も進み、ひどい傷を負わされたのだ。アーリア人は、これまで以上に強力な悲惨なマイナス淘汰の結果、次第に本性の歪んだ姿になってしまったのです

マイナス淘汰は、国家が種と自然に調和した文化の中で自然な生活を営むための国家意志の総動員を実現した場合にのみ阻止され、最終的に克服することができる。キリスト教以前の伝統的な高度文明では、文化を担う貴族の倫理観、すべての階級や集団を束ねる伝統、そして神聖な儀式によって決定される生活秩序によって、そのような生活が可能であったのである。

国家社会主義新秩序は、現代的な形で、そのような伝統的な文化を更新することになっている。しかし、それに加えて、生命の法則に関する科学的な知識が加わるのです。国家社会主義者の人種衛生と人種隔離の政策と国

家人種法は、このような知識から生まれたものである。こうしてマイナス淘汰は克服され、アーリア人種の種の保存と発展が確保される。つまり、生命の進化の過程で、より高い人類の保存、更新、さらなる発展が実現するのである。

## 73 - 中堅企業

国家社会主義ドイツ労働者党は、党綱領の第16項で、中産階級の振興策を呼びかけている。

**健全な中産階級は、国家社会の力の源なのです**

NSDAPは、中産階級のプロレタリア化のあらゆる危険と傾向と戦っている。利潤を追求する上流階級と搾取される労働者階級の間で潰される中流階級は、国家社会の破滅であり、マルクス主義が要求する無慈悲で自滅的な階級闘争につながるだろう。これに対して、中産階級の維持は、上流階級に、民衆との関係を失わず、彼らの利益に逆らってはならないという手本と注意を与え、労働者階級には、国家社会主義党の社会計画に支えられ、自分たちの仕事を通じて繁栄を達成する希望を与える。

この点で、国家社会主義は、中産階級を基礎とした国家共同体を目指している。とはいえ、国家社会党は小ブルジョア中産階級の政党ではなく、国家社会党労働者の政党である。中産階級のプロレタリア化と闘うのと同じように、労働者階級のブルジョア化を断固として阻止するのだ！」。熱望される中産階級は、もはやブルジョワではなく（ブルジョワジーも参照）、労働者階級の生活の倫理的原則によって特徴づけられる（倫理も参照）。このように、中産階級は、望ましい収入や富の状況（収入も参照）を特徴づけるが、模範的な生活態度を示すものではない。

中産階級は経済的には維持・促進されるが、その生活態度は労働者階級によって新たに形成されることになるのだ。中産階級は経済的なバックボーンですが、労働者階級は真の国家共同体の構築における倫理的なバックボーンなのです。

## 74 - 動員

**Mobilisation**とは軍事用語で、軍隊の準備と作戦能力の最高形態、および戦争開始直前の全軍の総動員を意味する。この言葉は、軍事的な領域から、国家社会主義によって、ドイツで国家社会主義ドイツ労働者党のシュトゥルム＝アブテイルングに体现されている政治的な兵士に転用された。

兵役中の兵士が動員を通じてあらゆる形態の戦争に備え、内向きになるように、政治的兵士の政治的動員も、彼の民族の種の保存と発展のために彼が導く永遠の闘争に鑑みて、このようになるのである。人民と民族の生存とより高い発展のための精神的・心理的総動員は、「信じよ！」という人生の最も重要な三つの戒めとともに、政治的兵士の人生に対する態度と生き方を特徴づけているのである。従え！戦え！」と言われ、国家社会主義革命の騎士となる（「信仰、規律、秩序」参照）。この動員は全体であり、全人格を形成するものです。

**鉤十字の旗に忠誠を誓う者は、まだ何も残っていないのだ！**

それは、すべての力を目覚めさせ、動員し、組織化し、一つの目標に向かわせるものだ。

このように、国家社会主義革命の始まりには、意志があるのです。これによって、戦闘員を政治的兵士に変え、政治的兵士の十戒による闘争倫理を作り出し、それがひいては国家社会主義の価値観の理想主義の一部となっているのである。その結果、国民と民族の未来のために政治を総動員することになったのです。

国家社会主義革命の過程で、種の保存と発展の意志は、まず党に、次に人民に、最後にヨーロッパ全体とアーリア人種（アーリア人を参照）に次第に浸透し、そこでも政治的な動員をもたらす--したがって、全体国家の創造をもたらすことになるだろう。しかし、これは新秩序を実現するための政治的な前提条件なのです。

この政治的な動員は一時的なものではなく、新秩序が実現されるまで何世代にもわたって生活を形成していくものである。そうやって初めて、動員は個人的・集団的自由の自然で当然の発展に後回しにされるが（「人格と分化」を参照）、文化を担う男性結社においては永遠に決定的な存在であり続ける。

## 75 - モナカ (MONARCHY)

現代の意識では、一般に2つの君主制の形態が知られている。

絶対王政のことです。ヨーロッパでは、ドイツ民族の神聖ローマ帝国、第一次ドイツ帝国が崩壊した結果、君主が国家の主権を無制限に担い、すべての権力の源泉となることを特徴としている。このような政治形態の最も新しい歴史的な例は、ロシアのツァーリズムである。しかし、ドイツ帝国やオーストリア・ハンガリー帝国も、第一次世界大戦末期に崩壊するまで、その特徴を色濃く残していた。

立憲君主制のことです。ヨーロッパでは、啓蒙主義の革命の結果、自由主義の理論に従って、主権が国民に移され、君主の権力が憲法によって多少なりとも制限され、ついには王冠が象徴としてしか見なされなくなかったという事実が特徴的である。

一方、国家社会主義人民国家では、主権は国家に移り、その意志の担い手は党である（意志と国家社会主義ドイツ労働者党を参照）。これは総統原理に従って命令され、その指導者にほぼ無限の権力を与えるが、国家社会主義の総統原理は遺伝に基づくものではなく、選抜に基づくものなので、絶対王政への橋は全くない（『キャンプ』を参照）。だからこそ、歴史的な国家社会主義は、常に正しく、ドイツのホーエンツォレルン王政の復活に厳しく反対を唱えてきたのである。

一方、将来の第四帝国、すなわち大ヨーロッパ圏の人民による超国家的秩序が、外見上統一された憲法の象徴として君主制を更新することは考えられる。これは、古代アリア人の高度な文明の伝統を受け継ぐ新秩序の最終的な確立に、とりわけあてはまるものである。

実際、第三の-真に種と自然に基づく-君主制が存在する。多様性の上に成り立つ恒久的な統一体としての遺伝の原理の儀式的体現としての伝統的君主制である（分化も参照されたい）。この中で、君主は儀礼の主人として、人民の共同体、すべての社会集団、さらにすべての人民の同志と、今日価値観論と呼ばれているより高い原理との間のリンクを形成しているのである。こうして彼は、「なる」と「なくなる」の絶え間ない葛藤を越えて、秩序と伝統の永続性を体現するのである。



国家社会主義は、共和制でも君主制でもなく、国家の形態の問題にはほとんど中立で無関心な運動である。しかし、それはアーリア人種の伝統的な秩序（アーリア人参照）を時代に即して更新する新秩序につながるものである。しかし、これはおそらく、伝統的な皇室制度、すなわち遺伝という生物学的自然法則の政治的表現としての君主制も更新することになるだろう-ちょうど指導者が淘汰という生物学的自然法則の政治的表現であり、今もそうであるように。

# 卍の下で楽しむ

## ゲルハルト・ラウクによる逸話集

### 29.

ヴォードビルの一流コメディアンの子息であるロックウェル中佐の演劇的素養は、彼が夢見た多くの公的行動に顕著に表れていた。彼は、黒人やユダヤ人の敵を笑い飛ばすことで、敵の威圧感を和らげ、ユーモアで味方を団結させることを知っていた。例えば、街頭デモでは、全身ゴリラ姿のストームトルーパーが "I'm for Equality!" という看板を持っていることがよくあった。

ニューヨークの高級ホテルで目立たないように開催された 異人種間同性愛のマトシン協会の秘密会合で、ロックウェルはストームトルーパーを裕福な社交界の人々でごった返すロビーにダッシュさせ、大声で "クィアーズ大会のための緊急貨物" を持っていると呼びかけたのである。彼の手には、ピンクのリボンで結ばれた大きなピンクの箱があり、"ラッシュェ - クィアーズ・コンベンションにワセリン1ケースを!" と太字で書かれたカードが添えられていた。

ロックウェルがアメリカ・ナチス党のために制作したものの中には、広く人気を博したものがある。少なくとも100万部が印刷され、配布された有名な「ボート・チケット」は、すべての黒人にアフリカへの水漏れするボートの片道切符を与えるものであった。このチケットには、心優しいイジー・ピレバウムから一枚500ドルの救命胴衣のクーポン券まで付いていた。

1965年に発売された「G.L.ロックウェル・アンド・ザ・クーンハンターズ」の45回転シングル盤には、フーテンのヒットパレードのトップを飾った2曲、"Ship those Blacks back!" と "We're non-violent Blacks" が収録されている。音楽はあくまでもフォークだが、歌詞は型破りだった。

## 30.

カリフォルニアのターンパイクで発見。バンパーステッカーには、“こんな面倒なことになるとわかっていたら、綿摘みなんてさせなかったのに！”と書かれていました。



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERTREUEN AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

*Der Kampf geht weiter !*

Sechzig Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist der nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrzehnte von Massentötung, Verdrängung und Verleumdung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der germanischen Rassen hoch gelichteten Führers Adolf Hitler zu vernichten.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affektierte Völker- und Rassenmenschen als ein Schächer im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwichtige Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (?) – zu begegnen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überfremdung und Rassenvermischung.

Ein "neg" oder "nigro", ob im Wahlkampf oder im Straßengefecht, ob als Propagandamittel, Sowjetbild, oder auf einem Kutschfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler  
Gottfried Lönck



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005 19.06.2022 (13)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningthescient.com/truth.htm](http://www.mourningthescient.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (22)

*The Fight Goes On !*

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "neg" or "nigro", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!  
Gottfried Lönck



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

## NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO nsdapao.info**